

ジャガイモ萌芽後の上手な管理

ジャガイモの芋は塊茎といわれることから分かるように、種芋から地上に向かって伸びた茎から横向きに何本も発生した地下茎の先端が膨らんで形成されるものです。

種芋には芽が数個以上あるので、全部伸ばすと、土中で込み合い、芋になる茎が多過ぎて大きな芋が付かなくなってしまう。芽が地上に出てきたら、勢いの良い2本だけを残して他の芽は取り除きます。実際の作業は、残す芽の周りの地面を指先で押さえ動かささないよう注意して横方向にかき取るか、はさみを少し土に差し込んで切り取ります。

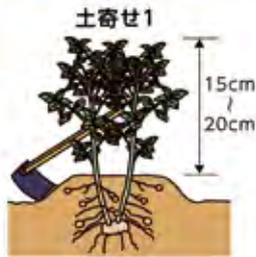
ただし、寒気が去り難く、強い晩霜がありそうときは、芽かきを遅らせ、あえて込み合わせるようにし、危険がなくなってから芽かきをする

ようにしましょう。そうすると多くの芽が寄り添い、葉が重なっているので、下の方の芽は寒害を受けず全滅を免がれるからです。

新芋は地表近くに付き、肥大してくるので、種芋から上の土が少なくと芋は十分に肥大せず、地表に現れ緑化する物も出てきますので、株元に土寄せをしてやる必要があります。この土寄せは、あまり早い時期に行くと地温の上昇を妨げるので、芽が15〜20cmの高さに伸びてからに、1回の量はせいぜい6〜7cmくらいとし、2回に分けて行います。土寄せをする前に、株の周りに化成肥料と油かすを1株当たり各大さじ1杯ほどばらまき、土と混ぜるようにならぬようにしながら株先へ土を寄せます。気温が上がりに地上部が旺盛に伸び

る頃になると病害虫が発生し始めます。特に葉に湿った黒褐色の斑点が入る疫病は大敵、これはトマトにも伝染するので、早めに薬剤を散布して防ぎましょう。害虫ではテントウムシダマシ(オオニジュウヤホシテントウ)が発生し、成虫、幼虫共に葉の裏側から葉脈を残して食害するので、葉を網目状にしています。

芋を掘り上げてみたら表面があばた状になっていることがあります。これはそうか病の被害です。乾燥した場合、特に畑がアルカリ性気味の場合に発生しやすいので、来年は過剰な石灰は施さないようにしましょう。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

園芸書が充実しています!

やさい畑 春号 3月1日(金)発売 定価:905円(税込)

特別企画 今回は、植えつけや畑の準備を少し工夫するだけで、連作障害を防げる野菜ごとの秘策を伝授。トマトもナスもキュウリも、連作障害はもう怖くありません。



家庭菜園の初心者から上級者まで、幅広い方におすすめの園芸書をご紹介します。野菜づくりの参考に、ぜひどうぞ!

- 別冊付録 **手づくり肥料ハンドブック**
- 新連載 **とことんやさしい菜園教室**
- 特別企画 **連作障害に強くなる 種まき&植えつけ**

隔月刊 2019年春号

オススメ



お申し込みは、お近くのJAへお電話ください。家の光図書館の情報はインターネットでご覧いただけます。 [家の光ネット](http://www.ienuhikari.net) <http://www.ienuhikari.net>